

健康寿命日本一の奈良県を目指す「ならシニア元気フェスタ」太極拳大会に 合計12チームが参加

健康寿命日本一の奈良県を目指す取組みの一環として、平成25年度から開催されてきた「ならシニア元気フェスタ」（奈良県・奈良県社会福祉協議会・奈良県老人クラブ連合会主催）の大会が5月9日（土）橿原市畝傍町の県立橿原公苑を主会場として開催され、太極拳も参加しました。

参加した競技団体は、ねんりんピックを構成している団体を中心に、スポーツ団体18団体と囲碁等の文化団体3団体です。

太極拳大会は社会福祉総合センター 6階の大ホールで“ねんりんピック予選会”とその他太極拳の集団競技の内容で開催しました。

参加チームは24式太極拳規定競技の部が8チーム、その他太極拳の徒手、器械の部が合せて4チームの合計12チームの競技となりました。

競技種目は、規定競技、その他太極拳ともねんりん

ピックと同じ音楽付きの競技です。

競技の結果24式太極拳規定競技の部1位は「り・ん・華」チーム、その他太極拳徒手の部1位は48式太極拳自選の「大和の華」、器械の部1位は28式総合太極剣の「ブルードラゴン」チームでした。

従って今年のねんりんピック参加チームは24式太極拳規定の部1位の「り・ん・華」チームに決定しました。

奈良県連盟としては、ねんりんピック形式の音楽付きの集団競技は「ならシニア元気フェスタ」だけですが、参加した選手、運営スタッフとも緊張した雰囲気の中で楽しそうに練習や競技に取り組み、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮している事が感じられました。

また太極拳仲間の演武する姿を眺め、楽しんだり、参加者相互の交流を図る等充実した大会となりました。

（奈良県武術太極拳連盟）



「ねんりんピック予選会」とその他太極拳の集団競技の内容で開催